

平成 29 年 3 月期 第 2 四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

平成 28 年 10 月 25 日

上場会社名 ダイソーケミックス株式会社 上場取引所 東
 コード番号 4366 URL <http://www.daitochemix.co.jp/>
 代表者 (役職名) 代表取締役 執行役員社長 (氏名) 永松 真一
 問合せ先責任者 (役職名) 執行役員 管理部長 (氏名) 南 修一 (TEL) 06 (6911) 9310
 四半期報告書提出予定日 平成 28 年 11 月 14 日 配当支払開始予定日 —
 四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無
 四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

1. 平成 29 年 3 月期第 2 四半期の連結業績 (平成 28 年 4 月 1 日～平成 28 年 9 月 30 日)

(1) 連結経営成績 (累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
29 年 3 月期第 2 四半期	5,952	27.4	620	159.5	559	108.7	483	111.5
28 年 3 月期第 2 四半期	4,672	6.9	239	104.2	267	92.0	228	65.2

(注) 包括利益 29 年 3 月期第 2 四半期 570 百万円 (457.7%) 28 年 3 月期第 2 四半期 102 百万円 (△60.8%)

	1 株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1 株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
29 年 3 月期第 2 四半期	44 99	—
28 年 3 月期第 2 四半期	21 27	—

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
29 年 3 月期第 2 四半期	13,141	8,219	62.5
28 年 3 月期	12,366	7,649	61.9

(参考) 自己資本 29 年 3 月期第 2 四半期 8,219 百万円 28 年 3 月期 7,649 百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第 1 四半期末	第 2 四半期末	第 3 四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
28 年 3 月期	—	0 00	—	0 00	0 00
29 年 3 月期	—	0 00	—	—	—
29 年 3 月期(予想)	—	—	—	4 00	4 00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 平成 29 年 3 月期の連結業績予想 (平成 28 年 4 月 1 日～平成 29 年 3 月 31 日)

(%表示は、通期は対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益		1 株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	11,500	17.9	750	47.0	700	34.2	650	—	60 51

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

※ 注記事項

- (1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動 (連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 無
 新規 一社 (社名) 、除外 一社 (社名)
- (2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 有
 (注) 詳細は、添付資料P. 2「2. サマリー情報(注記事項)に関する事項(2)四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用」をご覧ください。

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 有
 ② ①以外の会計方針の変更 : 無
 ③ 会計上の見積りの変更 : 無
 ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む)	29年3月期2Q	11,400,000株	28年3月期	11,400,000株
② 期末自己株式数	29年3月期2Q	658,008株	28年3月期	657,280株
③ 期中平均株式数(四半期累計)	29年3月期2Q	10,741,992株	28年3月期2Q	10,743,784株

※四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期報告書のレビュー手続の対象外であり、この四半期決算短信の開示時点において、金融商品取引法に基づく四半期報告書のレビュー手続を実施していません。

※業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる仮定及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、添付資料P. 2「1. 当四半期決算に関する定性的情報(3)連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご参照ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	2
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	2
2. サマリー情報（注記事項）に関する事項	2
(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動	2
(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用	2
(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示	2
(4) 追加情報	2
3. 四半期連結財務諸表	3
(1) 四半期連結貸借対照表	3
(2) 四半期連結損益及び包括利益計算書	5
第2四半期連結累計期間	5
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	6
(継続企業の前提に関する注記)	6
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	6
(セグメント情報等)	6

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第2四半期連結累計期間におけるわが国経済は、雇用の改善がみられるなど緩やかな景気回復基調で推移しているものの、中国やその他の新興国経済の成長鈍化、英国のEU離脱問題などによる世界経済の減速懸念、急激な円高の進行など先行き不透明な状況で推移いたしました。

このような状況の中で当社グループは、営業活動やコスト削減活動に全力をあげるとともに、先端の半導体用感光性材料、フラットパネルディスプレイ周辺材料、機能性材料、医薬中間体の新製品開発、廃棄物処理、リサイクルの特殊技術開発などに積極的に取り組みました。

その結果、当第2四半期連結累計期間における売上高は59億52百万円（前年同四半期比27.4%増）、経常利益は5億59百万円（前年同四半期比108.7%増）、親会社株主に帰属する四半期純利益は4億83百万円（前年同四半期比111.5%増）となりました。

(2) 財政状態に関する説明

当第2四半期末の総資産は前期末比7億75百万円増の131億41百万円となりました。流動資産は前期末比6億49百万円増の62億8百万円となりました。主な要因は、現金及び預金の増加であります。固定資産は前期末比1億25百万円増の69億33百万円となりました。主な要因は、株価上昇による投資有価証券の増加であります。

負債合計は前期末比2億5百万円増の49億22百万円となりました。主な要因は、社債の増加であります。

純資産は前期末比5億70百万円増の82億19百万円となりました。主な要因は、利益剰余金の増加であります。

これにより自己資本比率は62.5%となりました。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

平成29年3月期の業績予想につきましては、平成28年9月26日の「業績予想および配当予想の修正に関するお知らせ」で公表いたしました通期の業績予想に変更はありません。

2. サマリー情報（注記事項）に関する事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動

該当事項はありません。

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用

税金費用については、当第2四半期連結累計期間を含む連結会計年度の税引前当期純利益に対する税効果会計適用後の実効税率を合理的に見積り、税引前四半期純利益に当該見積実効税率を乗じて計算しております。

なお、法人税等調整額は法人税等を含めて表示しております。

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

(会計方針の変更)

(平成28年度税制改正に係る減価償却方法の変更に関する実務上の取扱いの適用)

法人税法の改正に伴い、「平成28年度税制改正に係る減価償却方法の変更に関する実務上の取扱い」（実務対応報告第32号 平成28年6月17日）を第1四半期連結会計期間から適用し、一部の子会社において平成28年4月1日以降に取得した建物附属設備および構築物に係る減価償却方法を定率法から定額法に変更しております。

なお、これによる損益に与える影響は軽微であります。

(4) 追加情報

(繰延税金資産の回収可能性に関する適用指針の適用)

「繰延税金資産の回収可能性に関する適用指針」（企業会計基準適用指針第26号 平成28年3月28日）を第1四半期連結会計期間から適用しております。

3. 四半期連結財務諸表

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (平成28年3月31日)	当第2四半期連結会計期間 (平成28年9月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	870	1,723
受取手形及び売掛金	2,075	1,973
商品及び製品	664	504
仕掛品	966	1,183
原材料及び貯蔵品	621	586
その他	359	238
流動資産合計	5,559	6,208
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物(純額)	1,575	1,505
機械装置及び運搬具(純額)	302	298
土地	2,990	2,990
その他(純額)	119	164
有形固定資産合計	4,988	4,959
無形固定資産	51	94
投資その他の資産		
投資有価証券	1,355	1,471
その他	411	407
投資その他の資産合計	1,767	1,879
固定資産合計	6,807	6,933
資産合計	12,366	13,141
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	650	656
1年内償還予定の社債	751	202
短期借入金	750	750
1年内返済予定の長期借入金	472	443
未払法人税等	27	94
賞与引当金	221	275
その他	496	548
流動負債合計	3,369	2,971
固定負債		
社債	45	516
長期借入金	1,059	1,151
退職給付に係る負債	13	14
その他	229	267
固定負債合計	1,347	1,950
負債合計	4,716	4,922

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (平成28年3月31日)	当第2四半期連結会計期間 (平成28年9月30日)
純資産の部		
株主資本		
資本金	2,901	2,901
資本剰余金	4,421	4,421
利益剰余金	373	857
自己株式	△352	△352
株主資本合計	7,344	7,827
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	231	314
繰延ヘッジ損益	△16	△3
為替換算調整勘定	90	81
その他の包括利益累計額合計	305	392
純資産合計	7,649	8,219
負債純資産合計	12,366	13,141

(2) 四半期連結損益及び包括利益計算書
(第2四半期連結累計期間)

(単位：百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自平成27年4月1日 至平成27年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成28年4月1日 至平成28年9月30日)
売上高	4,672	5,952
売上原価	4,019	4,895
売上総利益	653	1,057
販売費及び一般管理費	414	437
営業利益	239	620
営業外収益		
受取利息	0	0
受取配当金	13	15
不動産賃貸料	8	7
持分法による投資利益	30	4
雑収入	6	5
営業外収益合計	59	33
営業外費用		
支払利息	18	16
支払手数料	—	21
社債発行費	—	12
為替差損	2	29
雑損失	9	14
営業外費用合計	30	94
経常利益	267	559
税金等調整前四半期純利益	267	559
法人税等	39	75
四半期純利益	228	483
(内訳)		
親会社株主に帰属する四半期純利益	228	483
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	△121	82
繰延ヘッジ損益	△3	13
持分法適用会社に対する持分相当額	△1	△9
その他の包括利益合計	△126	86
四半期包括利益	102	570
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	102	570
非支配株主に係る四半期包括利益	—	—

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(セグメント情報等)

【セグメント情報】

I 前第2四半期連結累計期間(自平成27年4月1日至平成27年9月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高および利益の金額に関する情報

(単位:百万円)

	報告セグメント		
	化成品事業	環境関連事業	計
売上高			
外部顧客への売上高	3,978	694	4,672
セグメント間の内部売上高又は振替高	0	26	26
計	3,978	720	4,698
セグメント利益	138	96	234

2. 報告セグメントの利益の金額の合計額と四半期連結損益及び包括利益計算書計上額との差額および当該差額の主な内容(差異調整に関する事項)

(単位:百万円)

利益	金額
報告セグメント計	234
セグメント間取引消去	4
四半期連結損益及び包括利益計算書の営業利益	239

3. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

(固定資産に係る重要な減損損失)

該当事項はありません。

(のれんの金額の重要な変動)

該当事項はありません。

(重要な負ののれん発生益)

該当事項はありません。

Ⅱ 当第2四半期連結累計期間（自平成28年4月1日 至平成28年9月30日）

1. 報告セグメントごとの売上高および利益の金額に関する情報

(単位：百万円)

	報告セグメント		
	化成品事業	環境関連事業	計
売上高			
外部顧客への売上高	5,240	712	5,952
セグメント間の内部売上高又は振替高	0	30	31
計	5,240	743	5,983
セグメント利益	479	135	615

2. 報告セグメントの利益の金額の合計額と四半期連結損益及び包括利益計算書計上額との差額および当該差額の主な内容（差異調整に関する事項）

(単位：百万円)

利益	金額
報告セグメント計	615
セグメント間取引消去	5
四半期連結損益及び包括利益計算書の営業利益	620

3. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

(固定資産に係る重要な減損損失)

該当事項はありません。

(のれんの金額の重要な変動)

該当事項はありません。

(重要な負ののれん発生益)

該当事項はありません。